



『ためらわず正しく使う110番』

「110番」は、緊急の事件や事故が発生した際、その被害者や目撃者等から、いち早く通報を受け、負傷者の救護や犯人検挙などの警察活動を迅速、的確に行うための緊急通報用電話です。

県内での通報は、全て長野市の警察本部通信指令課につながります。

地域の安全・安心を守るため、110番の正しい利用をお願いします。

110番 //

～ 「110番」通報のポイント ～



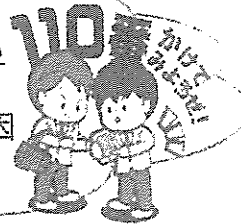
- ① 何がありましたか？→交通事故、泥棒、けんかなど
- ② 場所はどこですか？→市町村、番地、目標物(交差点名、銀行、学校、病院コンビニ)など
- ③ いつのことですか？→「たった今」「〇分くらい前」など
- ④ 犯人は？→犯人の人数、性別、年齢、身長、体格、服装、車種やナンバー・色、逃走方向など
- ⑤ 今どうなっていますか？→けが人の様子、被害状況 など
- ⑥ あなたの住所、氏名 など

間違って「110番」してしまった…



- すぐに電話を切らず、「間違い」「事件事故ではない」と伝えてください。
- 電話を切った場合、折り返し電話をかけて事件・事故ではないか確認させていただきますので、必ず応答して説明するようにしてください。

○緊急ではない110番通報はしないでください
緊急でない110番通報は、
緊急を要する事件・事故への対応を妨げる原因
になります。



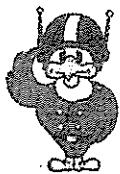
ご相談は「#9110」、ご要望やお問い合わせなどは、北部交番、松本警察署へ

冬季における交通事故防止



冬本番を迎え、積雪や路面凍結が心配な時期です。

当交番の管内は坂道が多く、いつもどおりの運転をしていると、思わぬところでスリップして事故につながるおそれがあります。冬場は、「速度を控えめに」、「ブレーキは優しく」、「安全確認はより丁寧に」を意識しましょう。また、雪道はいつもより移動時間がかかります。時間と心にゆとりを持ち、あわてずに運転に集中してください。



松本警察署

令和8年1月号

ビィじいさん



「電話でお金詐欺」撃退通信

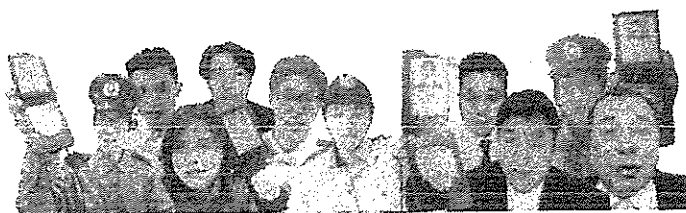
長野県警察シンボルマスコット「ライボくん ライビィちゃん」

電話でお金詐欺防止キャラクター

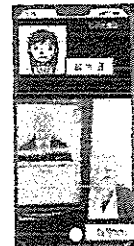
『二セ警察官』による詐欺被害が増加！！ 捜査名目で現金等をだまし取る手口に注意

二セ警察詐欺の特徴

- 二セ警察詐欺は電話でお金詐欺のうちオレオレ詐欺に分類されるもので、犯人が警察官などを装い、事件の捜査などの名目で金品をだまし取る手口です。
- 犯人側が「守秘義務が課せられている」などと被害者を脅すことで、周囲に相談できない状況を作って孤立させ、被害に気付きににくい状況を作りだします。
- 二セ警察官詐欺では「逮捕を逃れるためには全財産を調べる必要がある」などと資金調査を名目とし、被害者の全財産をだまし取ることで、被害が高額化します。



全員“二セ警察官”です



LINEメッセージ・ビデオ通話



- ・ 警察はSNSやメッセージアプリで連絡することはありません。
- ・ 警察は逮捕を免れることを理由に金銭の振り込みを指示することはありません。
- ・ 警察は+（プラス）から始まる国際電話番号で電話することはありません。

最新の手口や、発生状況を知り、詐欺を見破りましょう！
長野県警察安全・安心アプリ「ライボリス」では、最新の詐欺被害発生状況や防犯対策等を知ることができます！！

インストールはこちら→



松本警察署 0263-25-0110